

H20 福島県 公立 数学 問題

数-08-公-福島-問-01

1 次の問1, 問2に答えなさい。

問1 次の計算をしなさい。

(1) $-4 + 9$

(2) $\frac{2}{3} \times \left(-\frac{9}{8}\right)$

(3) $4\sqrt{3} + \sqrt{27}$

(4) $3(a + 2b) - 4(a - b)$

問2 下のア～エのうち, 関数 $y = 2x$ のグラフ上にある点はどれか。1つ選び, 記号で答えなさい。

ア 点 $(0, 2)$

イ 点 $(1, 3)$

ウ 点 $(2, 4)$

エ 点 $(4, 2)$

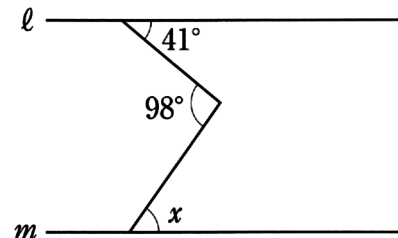
数-08-公-福島-問-02

2 次の問1～問5に答えなさい。

問1 80円切手を a 枚と, 120円切手を b 枚買ったときの代金の合計を, a, b を使った式で表しなさい。

問2 2次方程式 $x^2 - x - 20 = 0$ を解きなさい。

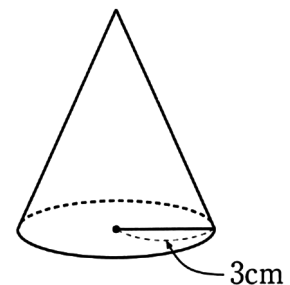
問3 右の図で, $\ell \parallel m$ であるとき, x の大きさを求めなさい。



問4 $a = 28, b = 22$ のとき, $a^2 - b^2$ の値を求めなさい。

問5 右の図のような, 底面の半径が 3 cm, 体積が 18 cm^3 の円すいがある。

この円すいの高さを求めなさい。



3 次の問1～問3に答えなさい。

問1 1, 2, 3, 4, 5の数字を1つずつ書いた5枚のカードがある。これらのカードをよくきり, はじめに A さんが1枚の

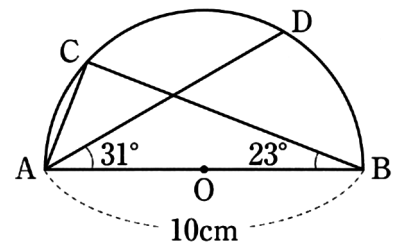


カードをひき, 続いて B さんが残りの4枚のカードから1枚のカードをひく。

このとき, 次の問いに答えなさい。

- (1) A さん, B さんのひいたそれぞれのカードに書いてある数が, ともに奇数となる場合は全部で何通りあるか, 求めなさい。
- (2) A さん, B さんのひいたそれぞれのカードに書いてある数の和が, 偶数となる確率を求めなさい。

問2 右の図のように, 長さが10 cmの線分ABを直径とする半円Oがある。弧AB上に, $\angle ABC = 23^\circ$, $\angle BAD = 31^\circ$ となるように2点C, Dをとる。



- (1) $\angle CAD$ の大きさを求めなさい。
- (2) 弧CDの長さを求めなさい。

問3 温度の表し方として, 日本ではセ氏温度, アメリカではカ氏温度が使われることが多い。セ氏温度の単位は $^{\circ}\text{C}$, カ氏温度の単位は $^{\circ}\text{F}$ である。

表1は, セ氏温度に対応するカ氏温度の関係を表したものである。その関係をグラフに表すと直線になる。

表1

セ氏温度($^{\circ}\text{C}$)	...	5	...	20	...
カ氏温度($^{\circ}\text{F}$)	...	41	...	68	...

- (1) セ氏温度で10 $^{\circ}\text{C}$ 上昇することは, カ氏温度では何 $^{\circ}\text{F}$ 上昇することにあたるか, 求めなさい。

- (2) 表2は, ある日の福島市とニューヨーク市の最高気温と最低気温を示したものである。

表2

	最高気温	最低気温
福島市	7.5	-1.5
ニューヨーク市	50.0 $^{\circ}\text{F}$	36.0 $^{\circ}\text{F}$

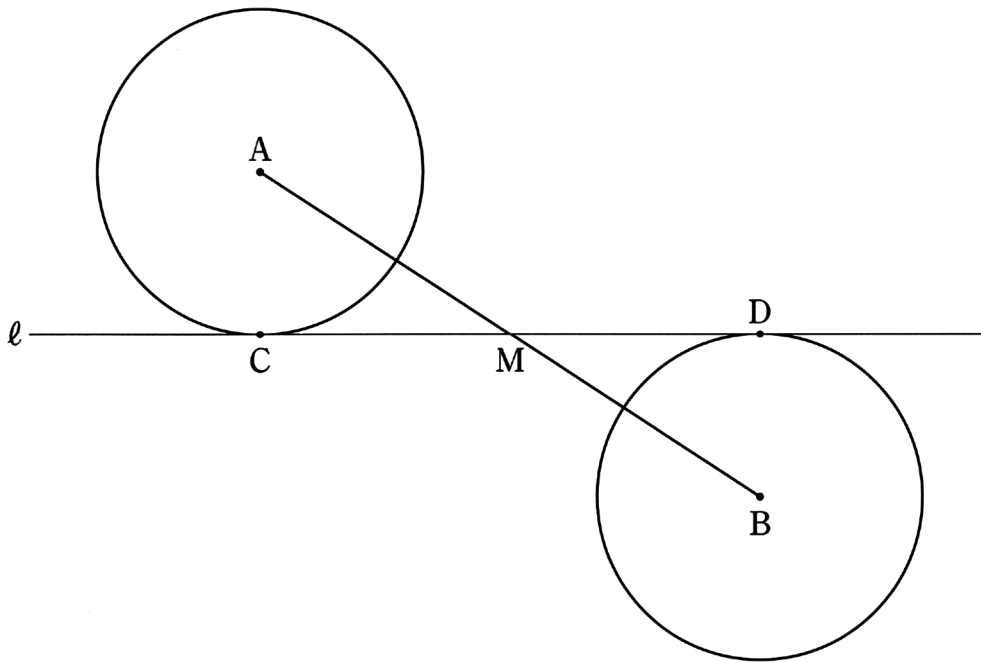
福島市とニューヨーク市のうち, この日の最高気温と最低気温の温度差が大きかったのはどちらか。温度差が大きかったほうの都市名を書き, その理由を説明しなさい。

- 4 ある中学校で男子生徒の数と女子生徒の数について調べたところ, 昨年度は, 男子生徒が女子生徒より7人多かった。今年度は, 昨年度と比べ男子生徒が6人減り, 女子生徒が8人増え, 今年度の全校生徒の数に対する女子生徒の数の割合は52%であった。

このとき, 今年度の男子生徒の数, 女子生徒の数はそれぞれ何人か, 求めなさい。

求める過程も書きなさい。

- 5 下の図のように、半径の等しい2つの円A, Bがあり、直線 ℓ にそれぞれ点C, Dで接している。線分ABと ℓ との交点をMとする。
このとき、 $AM = BM$ であることを証明しなさい。

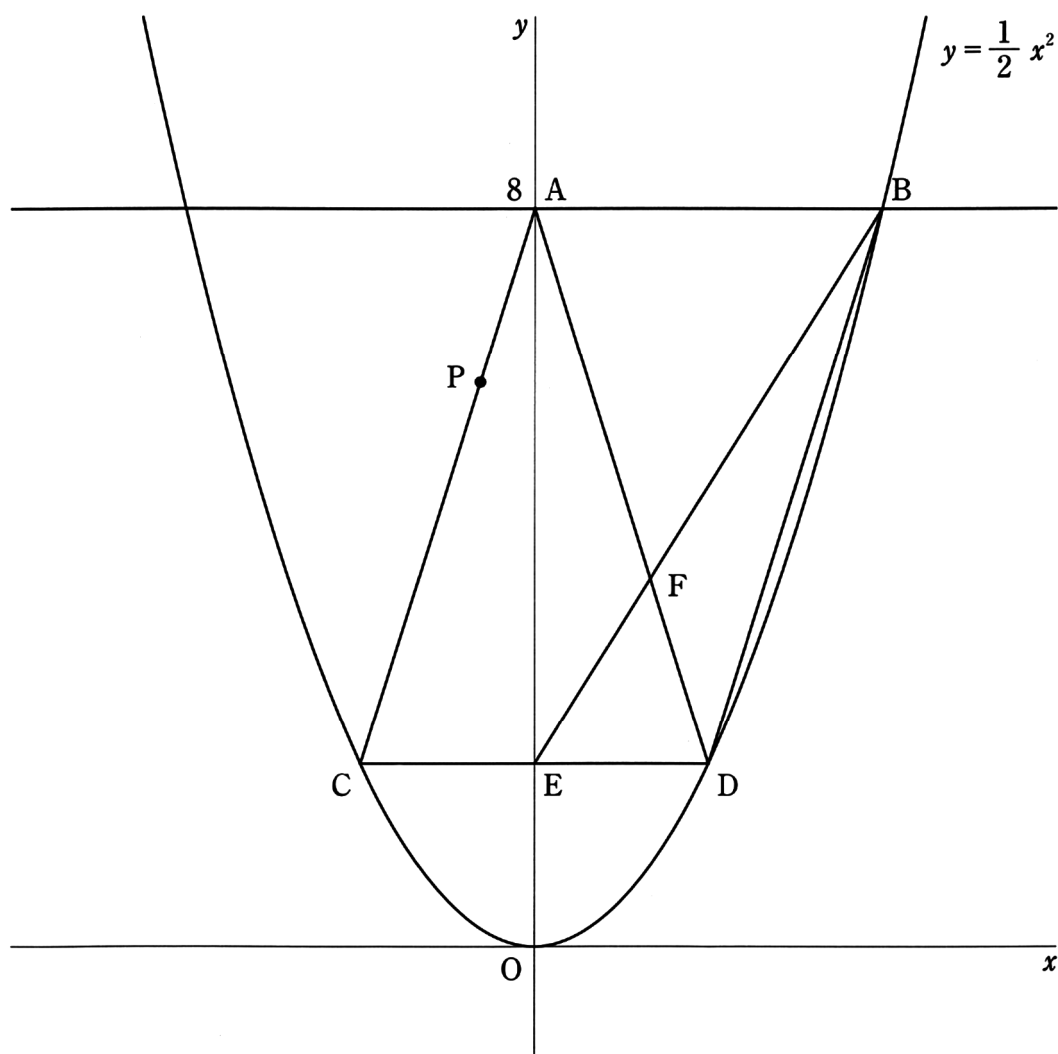


- 6 次の図のように、関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフと点 $A(0, 8)$ がある。
A を通り x 軸に平行な直線と放物線との交点のうち、 x 座標が正である点を B とし、四角形 ACDB が平行四辺形となるように放物線上に2点 C, D をとる。また、CD と y 軸との交点を E、線分 AD と線分 BE との交点を F とする。
このとき、次の問1～問3に答えなさい。

問1 点 B の x 座標を求めなさい。

問2 AFB の面積を求めなさい。

- 問3 四角形 PCEF の面積が $\triangle AFB$ の面積と等しくなるように、線分 AC 上に点 P をとる。
このとき、点 P の座標を求めなさい。



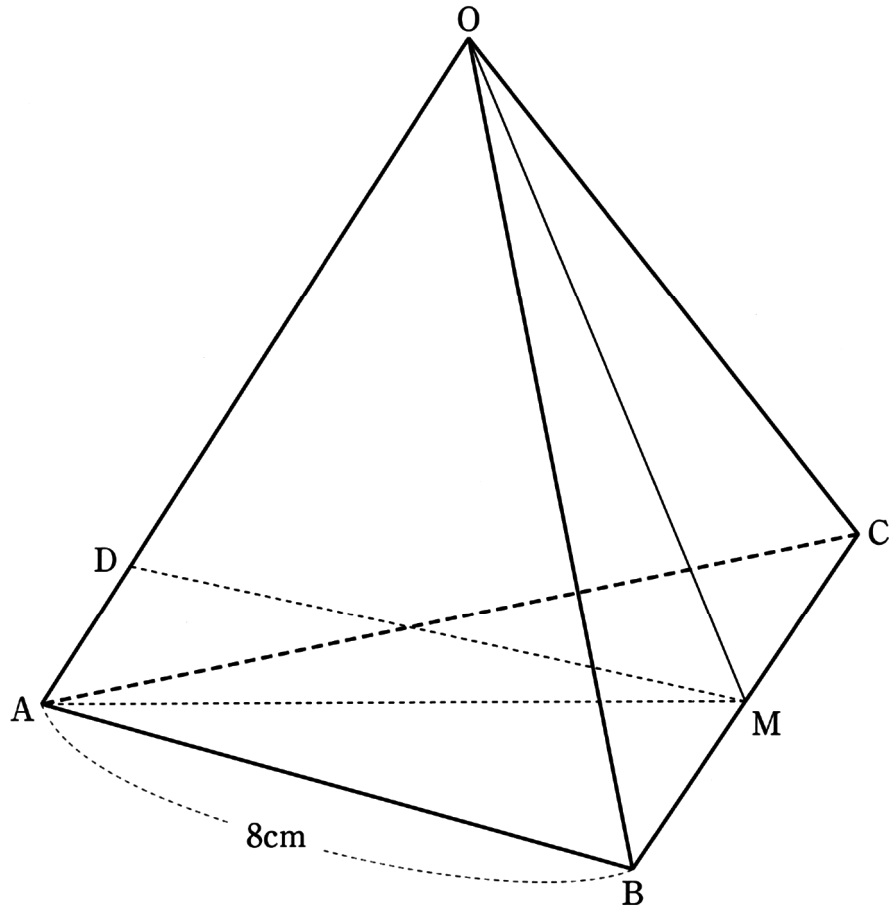
数-08-公-福島-問-07

- 7 次の図のように、4点 O, A, B, C を頂点とする1辺の長さが8 cm の正四面体がある。
辺 BC の中点を M とし、辺 OA 上に $OD = MD$ となるように点 D をとる。
このとき、次の問1～問3に答えなさい。

問1 線分 OM の長さを求めなさい。

問2 $\triangle OAM$ の面積を求めなさい。

問3 点Dから線分AMにひいた垂線とAMとの交点をHとするとき、DHの長さを求めなさい。



	問題番号		解 答		配点	備 考
数〇公福島・2019	1	問 1	(1)			
			(2)			
			(3)			
			(4)			
		問 2				
数〇公福島・2020	2	問 1	() 円			
		問 2				
		問 3	度			
		問 4				
		問 5	cm			
数〇公福島・2023	3	問 1	(1)	通り		
			(2)			
		問 2	(1)	度		
			(2)	cm		
		問 3	(1)	円		
			(2)	都市名 () 市 [理由]		

	問題番号		解 答	配点	備 考
数 08 公 福 島 K-06	6	問 1			
		問 2			
		問 3	P (,)		
数 08 公 福 島 K-07	7	問 1	cm		
		問 2	cm ²		
		問 3	cm		

H20 福島県 公立 数学 解答

	問題番号		解 答		配点	備 考
数Ⅱ 公立福島県立	1	問 1	(1)	5		
			(2)	$-\frac{3}{4}$		
			(3)	$7\sqrt{3}$		
			(4)	$-a+10b$		
		問 2	ウ			
数Ⅱ 公立福島県立	2	問 1	$(80a+120b)$ 円			
		問 2	$x=5, x=-4$			
		問 3	57 度			
		問 4	300			
		問 5	6 cm			
数Ⅱ 公立福島県立	3	問 1	(1)	6 通り		
			(2)	$\frac{2}{5}$		
	3	問 2	(1)	36 度		
			(2)	2 cm		
	3	問 3	(1)	18 ℉		
			(2) 解答例	都市名(福島)市 [理由の例] 福島市の最高気温と最低気温の温度差は $7.5 - (-1.5) = 9.0$ () セ氏温度で 1 上昇することは、カ氏温度では 1.8 ℉ 上昇することにあたるから、福島市の最高気温と最低気温の温度差を、カ氏温度で表すと $9.0 \times 1.8 = 16.2$ (℉) (1) また、ニューヨーク市の最高気温と最低気温の温度差は $50.0 - 36.0 = 14.0$ (℉) (2) (1), (2)より、福島市のほうが最高気温と最低気温の温度差が大きい。		

	問題番号	解 答	配点	備 考
数・公・福島・K04	4	<p>解答例</p> <p>[求め方の例] 昨年度の男子生徒の数を x 人, 女子生徒の数を y 人とする。 昨年度は, 男子生徒が女子生徒より 7 人多かったので $x - y = 7 \quad \dots\dots (1)$ 今年度の男子生徒の数は $(x - 6)$ 人, 女子生徒の数は $(y + 8)$ 人なので, 今年度の全校生徒の数は $(x + y + 2)$ 人である。 今年度の全校生徒の数に対する女子生徒の数の割合は 52% であるから $y + 8 = (x + y + 2) \times \frac{52}{100}$ 整理して $13x - 12y = 174 \quad \dots\dots (2)$ (1), (2) を連立方程式として解いて $x = 90, y = 83$ 今年度の男子生徒の数は $90 - 6 = 84$, 女子生徒の数は $83 + 8 = 91$ 答 { 今年度の男子生徒の数 <u>84</u> 人 今年度の女子生徒の数 <u>91</u> 人</p>		
数・公・福島・K05	5	<p>解答例</p> <p>[証明の例 1] ACM と BDM において 2 つの円の半径が等しいから $AC = BD \quad \dots\dots (1)$ 円の接線は, 接点を通る半径に垂直であるから $ACM = BDM = 90^\circ \quad \dots\dots (2)$ 対頂角は等しいから $AMC = BMD \quad \dots\dots (3)$ 三角形の内角の和は 180° であり, (2), (3) より, 残りの角も等しいから $CAM = DBM \quad \dots\dots (4)$ (1), (2), (4) より, 1 辺とその両端の角がそれぞれ等しいから $ACM \cong BDM$ 合同な三角形では, 対応する辺の長さが等しいから $AM = BM$</p> <p>[証明の例 2] 四角形 ACBD において 2 つの円の半径が等しいから $AC = DB \quad \dots\dots (1)$ 円の接線は, 接点を通る半径に垂直であるから $ACD = BDC = 90^\circ$ 錯角が等しいから $AC \parallel DB \quad \dots\dots (2)$ (1), (2) より, 1 組の対辺が平行でその長さが等しいから, 四角形 ACBD は平行四辺形である。 平行四辺形では, 対角線はそれぞれの中点で交わるから $AM = BM$</p>		

	問題番号		解 答	配点	備 考
数 06 公 福 島 本 06	6	問 1	4		
		問 2	8		
		問 3	$P\left(-\frac{1}{2}, \frac{13}{2}\right)$		
数 06 公 福 島 本 07	7	問 1	$4\sqrt{3}$ cm		
		問 2	$16\sqrt{2}$ cm ²		
		問 3	$\frac{2\sqrt{6}}{3}$ cm		

数-08-公-福島-KS-01

$$1 \quad \text{問1} \quad (3) \quad 4\sqrt{3} + \sqrt{27} = 4\sqrt{3} + \sqrt{3^2 \times 3} = 4\sqrt{3} + 3\sqrt{3} = 7\sqrt{3}$$

数-08-公-福島-KS-02

$$2 \quad \text{問4} \quad a^2 - b^2 = (a+b)(a-b) \quad a=28, b=22 \text{ を代入して, } (28+22) \times (28-22) = 50 \times 6 = 300$$

数-08-公-福島-KS-03

$$3 \quad \text{問3} \quad (1) \quad \text{セ氏温度を } x, \text{ カ氏温度を } y \text{ °F とすると, グラフは直線になることより, } y \text{ は } x \text{ の一次関数である。変化の割合は, } (68-41) \div (20-5) = \frac{9}{5} \text{ よって, セ氏温度が } 10^\circ \text{ 上昇するとき, } x \text{ の増加量が } 10 \text{ だから, } y \text{ の増加量は, } \frac{9}{5} \times 10 = 18 \text{ (°F)}$$

数-08-公-福島-KS-04

$$4 \quad \text{昨年度の男子生徒数を } x \text{ 人, 女子生徒数を } y \text{ 人とする。昨年度, 男子生徒は女子生徒より 7 人多いの} \\ \text{で, } x=y+7 \dots (1) \text{ 今年度, 男子は 6 人減り, } x-6 \text{ (人) 女子は 8 人増え, } y+8 \text{ (人) と表せる。今年度} \\ \text{の全校生徒に対する女子生徒数の割合は 52\% より, } y+8=0.52 \times (x-6+y+8) \dots (2) \text{ (1), (2) を連立方} \\ \text{程式として解くと, } x=90, y=83 \text{ よって, 今年度の男子生徒の数は, } 90-6=84 \text{ (人), 女子生徒の数は, } 83+8=91 \text{ (人)}$$

数-08-公-福島-KS-05

$$5 \quad \text{対応する辺が AM と BM になる 2 つの三角形 ACM と BDM の合同を証明して, AM = BM を示す。}$$

数-08-公-福島-KS-06

$$6 \quad \text{問2} \quad A(0, 8), B(4, 8) \text{ だから, } AB=4 \quad \text{四角形 ABCD は平行四辺形より, } CD=AB=4 \quad \text{また,} \\ AB \parallel CD \text{ より, } CD \parallel x \text{ 軸で, C, D は } y = \frac{1}{2}x^2 \text{ 上の点より, } y \text{ 軸について対称な点だから, } ED = \frac{CD}{2} = 2 \\ D \text{ の } x \text{ 座標は } 2, y \text{ 座標は, } \frac{1}{2} \times 2^2 = 2 \text{ よって, } D(2, 2) \quad AB \parallel ED \text{ より, } AF:FD = AB:ED = 4:2 \\ = 2:1 \text{ よって, } AFB = \frac{2}{3} \quad ADB = \frac{2}{3} \times \frac{1}{2} \times 4 \times (8-2) = 8 \\ \text{問3} \quad EFD = \frac{1}{3} \quad AED = \frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \times 2 \times (8-2) = 2 \quad ACD = ADB = 12 \text{ だから, (四角形 PCEF) =} \\ AFB = 8 \text{ のとき, } APF = ACD - EFD - (\text{四角形 PCEF}) = 12 - 2 - 8 = 2 \quad APF:PDF = 2:1 \\ 2:PDF = 2:1 \quad PDF = 1 \text{ よって, } PCD = 12 - 2 - 1 = 9 \quad P \text{ から CD に垂線 PH をひくと, } PCD \\ = \frac{1}{2} \times CD \times PH = \frac{1}{2} \times 4 \times PH = 2PH \quad 2PH = 9 \quad PH = \frac{9}{2} \quad PH \parallel AE \text{ より, } PH:AE = CH:CE \\ \frac{9}{2}:6 = CH:2 \quad 6CH = 9 \quad CH = \frac{3}{2} \text{ よって, P の } x \text{ 座標は } -2 + \frac{3}{2} = -\frac{1}{2}, y \text{ 座標は } 2 + \frac{9}{2} = \frac{13}{2} \\ P\left(-\frac{1}{2}, \frac{13}{2}\right)$$

数-08-公-福島-KS-07

$$7 \quad \text{問2} \quad M \text{ から OA にひいた垂線を MK とする。OM = AM = } 4\sqrt{3} \text{ の二等辺三角形だから, OK = AK =} \\ 4 \text{ よって, MAK で, 三平方の定理より, MK = } \sqrt{(4\sqrt{3})^2 - 4^2} = 4\sqrt{2} \quad OAM = \frac{1}{2} \times 8 \times 4\sqrt{2} = \\ 16\sqrt{2} \text{ (cm}^2\text{)}$$

$$\text{問3} \quad AD = a \text{ とおくと, OD = MD = } 8-a, DK = 4-a \text{ とおける。DMK で, 三平方の定理より, } (8-a)^2 \\ = (4-a)^2 + (4\sqrt{2})^2 \text{ これを解いて, } a=2 \quad MD = 8-2=6 \quad AH \text{ を } x \text{ cm とすると, DH}^2 = DA^2 - AH^2 = \\ DM^2 - MH^2 \quad 2^2 - x^2 = 6^2 - (4\sqrt{3} - x)^2 \text{ これを解いて, } x = \frac{2\sqrt{3}}{3} \text{ よって, DH = } \sqrt{2^2 - \left(\frac{2\sqrt{3}}{3}\right)^2} = \\ \frac{2\sqrt{6}}{3} \text{ (cm)}$$